

## 4 福祉について

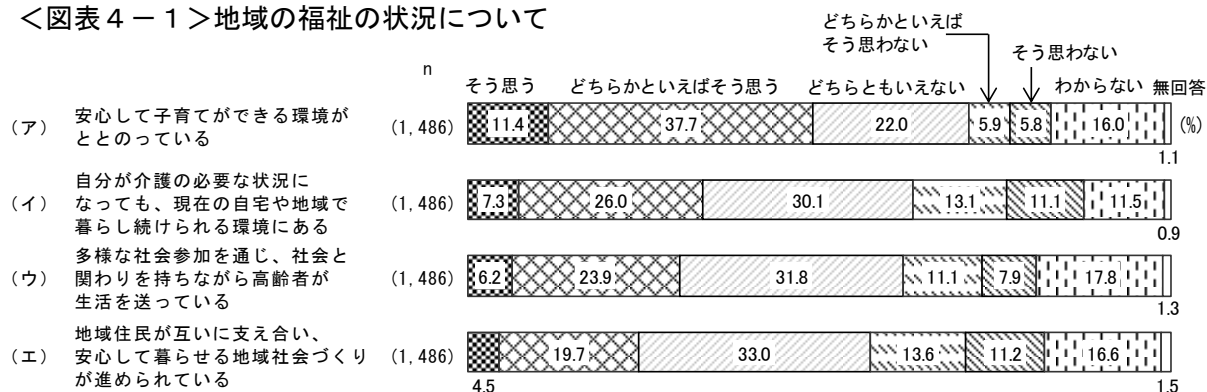
### （１）地域の福祉の状況について

◇『そう思う（計）』が＜安心して子育てができる環境がととのっている＞で約５割

問29 以下について、お住まいの地域はどのような状況だと思いますか。

（○はそれぞれ１つずつ）

＜図表４－１＞地域の福祉の状況について

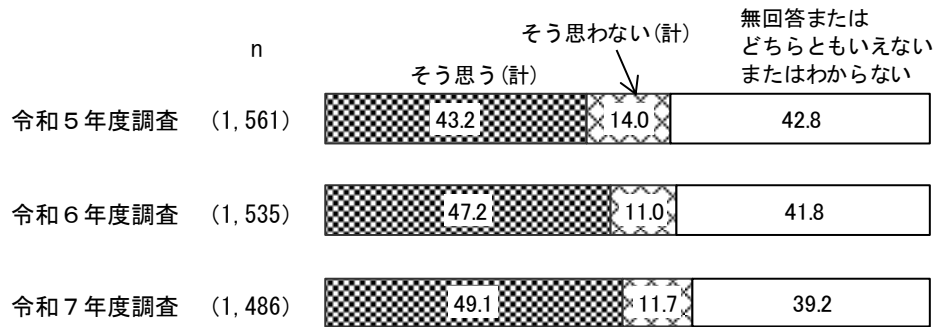


地域の福祉の状況に関する４項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」(49.1%) が約５割、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(33.4%) が３割を超え、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(30.1%) が３割となっている。

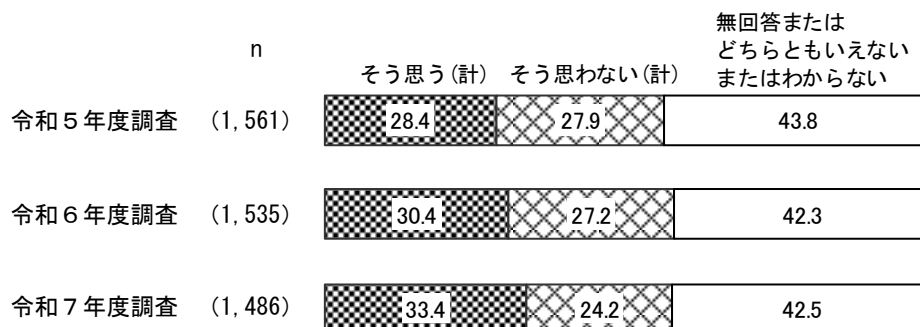
一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」(24.8%) と「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(24.2%) が２割台半ば、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(19.0%) が約２割となっている。（図表４－１）

〔参考〕 令和5年度・6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

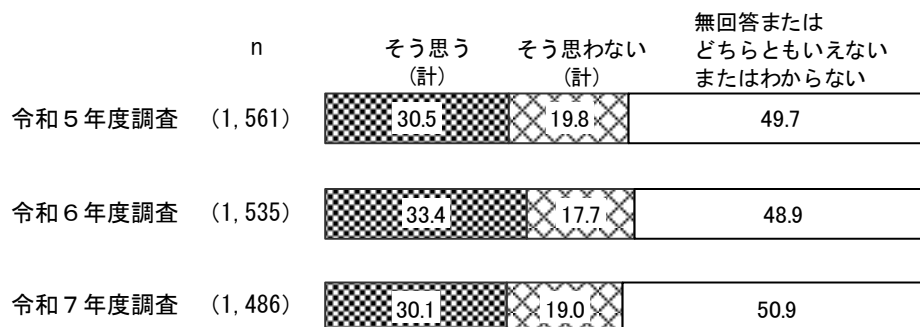
安心して子育てができる環境がととのっている



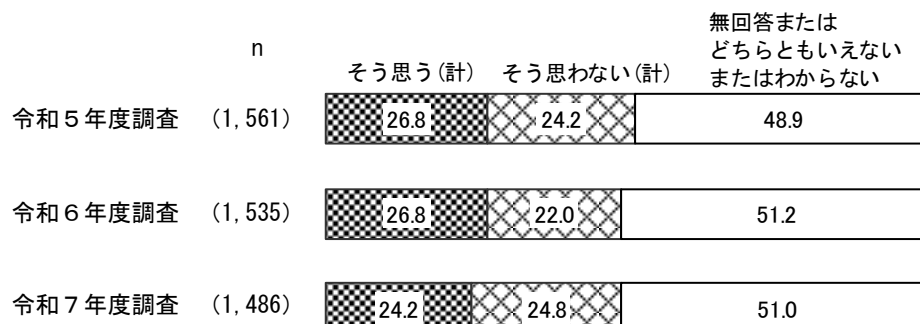
自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある



多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



### 【地域別】

地域別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う（計）』は“葛南地域”（56.3%）と“東葛飾地域”（53.9%）が5割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“海匝地域”（33.3%）が3割を超え、“山武地域”（25.0%）が2割台半ばで高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思わない（計）』は“海匝地域”（38.9%）と“山武地域”（37.5%）が約4割、“君津地域”（36.8%）が3割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う（計）』は“東葛飾地域”（34.4%）が3割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“山武地域”（37.5%）が約4割、“君津地域”（32.4%）が3割を超えて高くなっている。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない（計）』は“千葉地域”（29.5%）が約3割で高くなっている。（図表４－２）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思わない（計）』は女性の65～69歳（20.5%）が2割で高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う（計）』は男性の75歳以上（46.6%）と女性の75歳以上（44.4%）が4割台半ばで高くなっている。

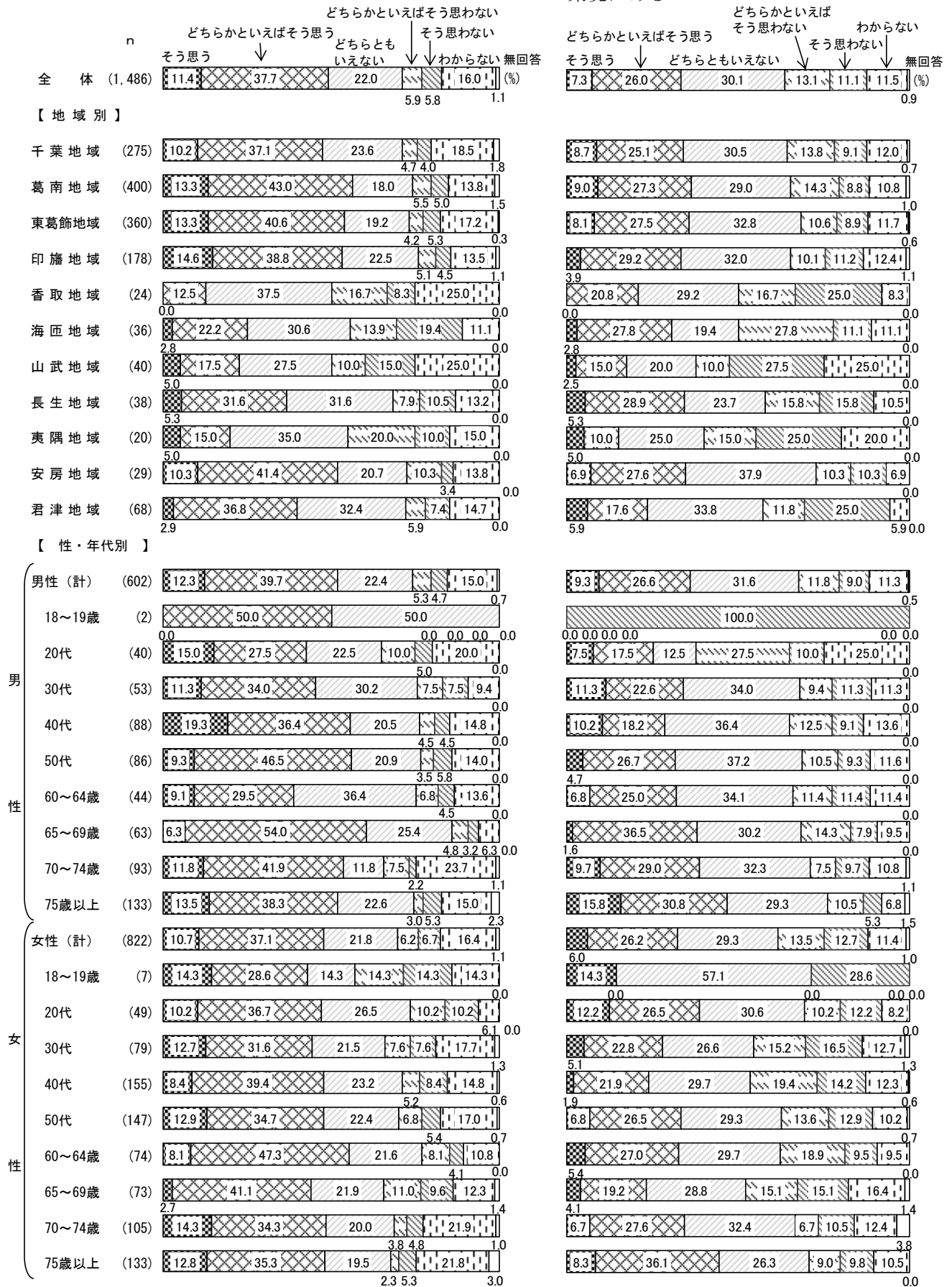
一方、『そう思わない（計）』は男性の20代（37.5%）が約4割、女性の40代（33.5%）が3割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う（計）』は女性の20代（42.9%）が4割を超え、男性の75歳以上（38.3%）が約4割で高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の60～64歳（28.4%）が約3割で高くなっている。

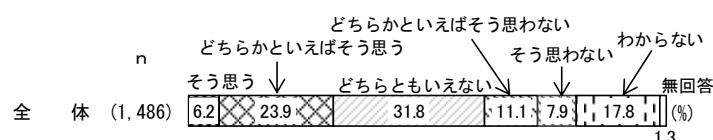
「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思う（計）』は男性の75歳以上（33.1%）が3割を超えて高くなっている。（図表４－２）

&lt;図表 4-2&gt;地域の福祉の状況について／地域別、性・年代別

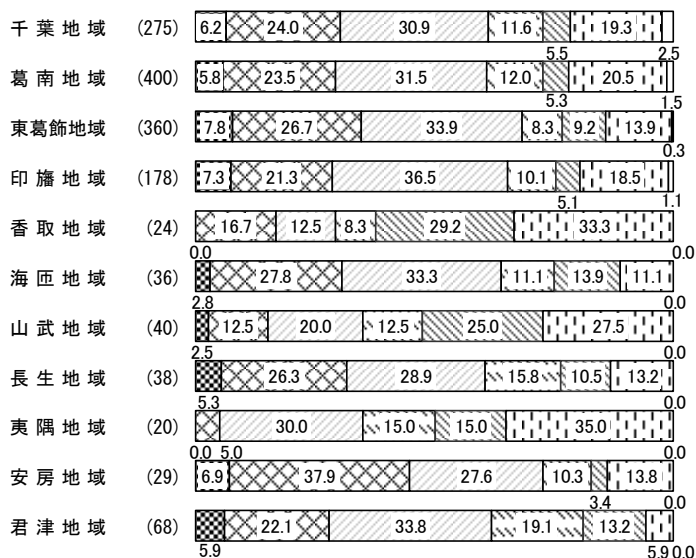
(ア) 安心して子育てができる  
環境がととのっている(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、  
現在の自宅や地域で暮らし続けられる  
環境にある

(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている

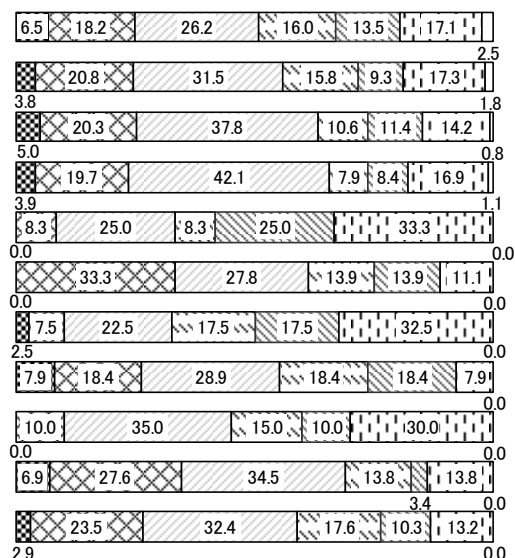
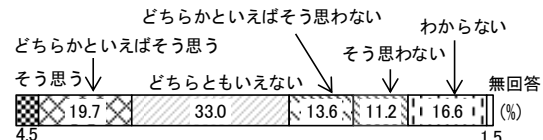
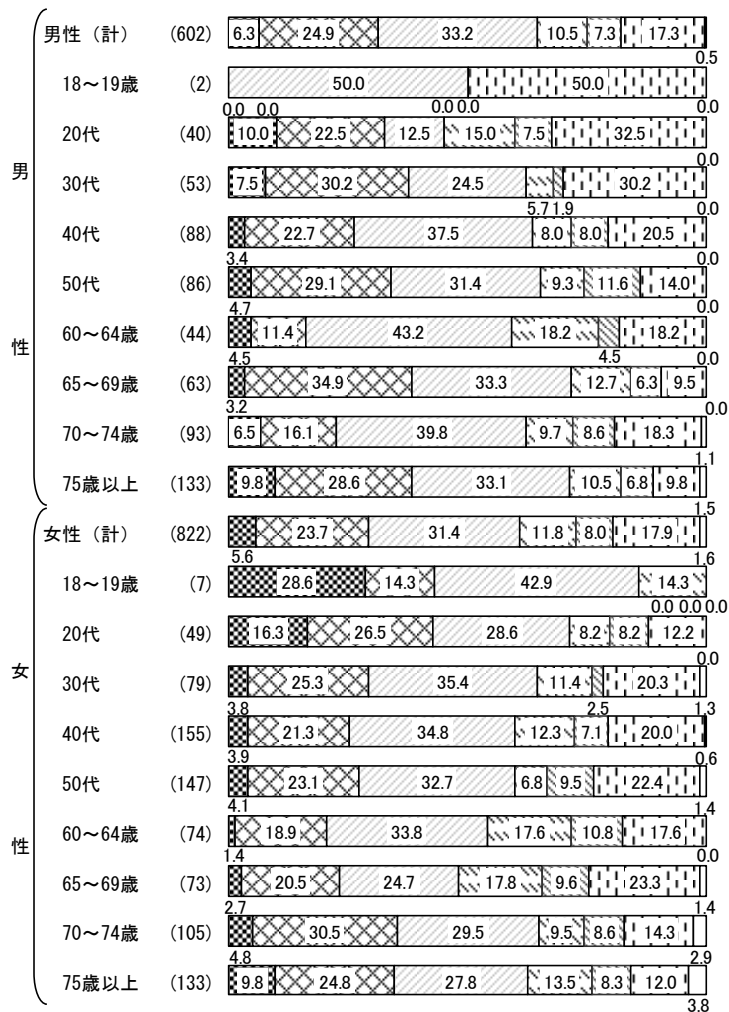
(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



【地域別】



【性・年代別】

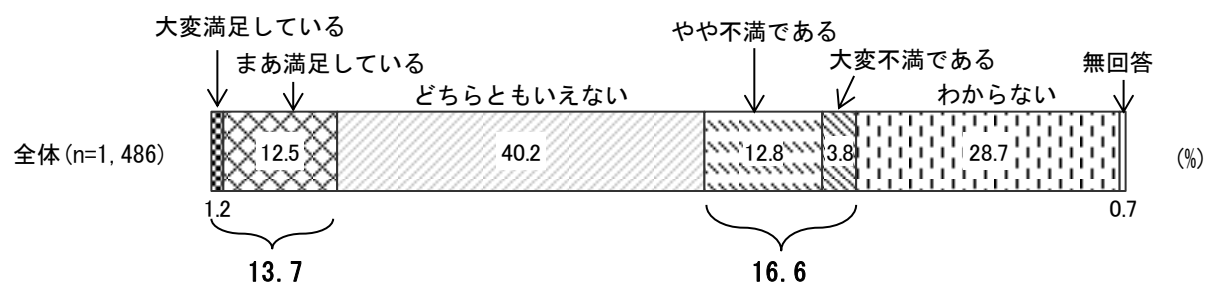


## （２）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『満足している（計）』が１割台半ば

問30 あなたは、県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」についてどうお感じですか。ご自身以外でも、ご家族やご近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。（○は１つ）

＜図表４－３＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

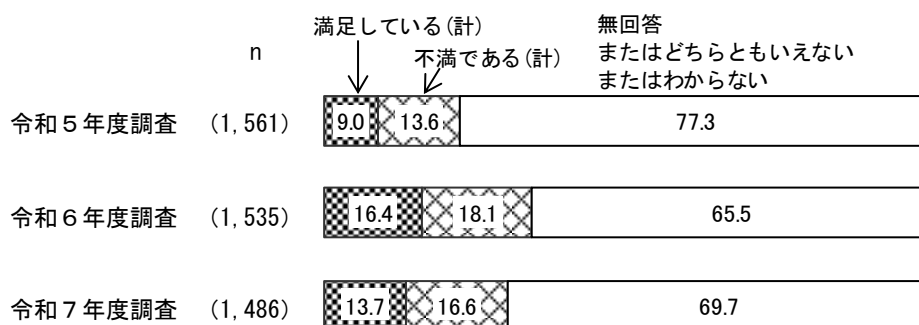


県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」（1.2%）と「まあ満足している」（12.5%）を合わせた『満足している（計）』（13.7%）が１割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」（12.8%）と「大変不満である」（3.8%）を合わせた『不満である（計）』（16.6%）が１割台半ばとなっている。

また、「どちらともいえない」（40.2%）が４割となっている。（図表４－３）

〔参考〕令和５年度・６年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



※設問文の「ご自身以外でも、ご家族やご近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。」は、令和６年度調査から追加

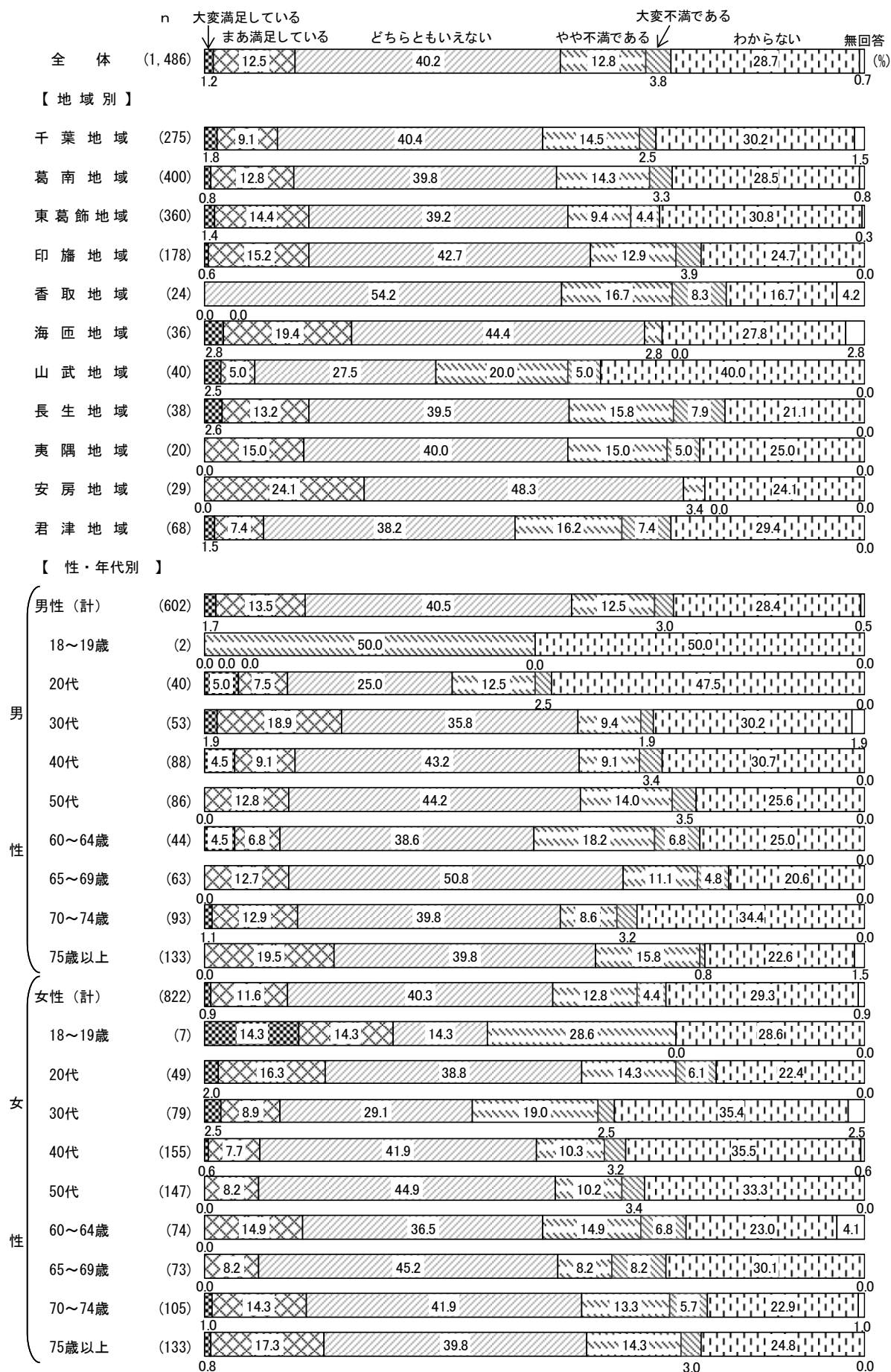
### 【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表４－４）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している（計）』は男性の75歳以上（19.5%）が約２割で高くなっている。（図表４－４）

＜図表 4－4＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別

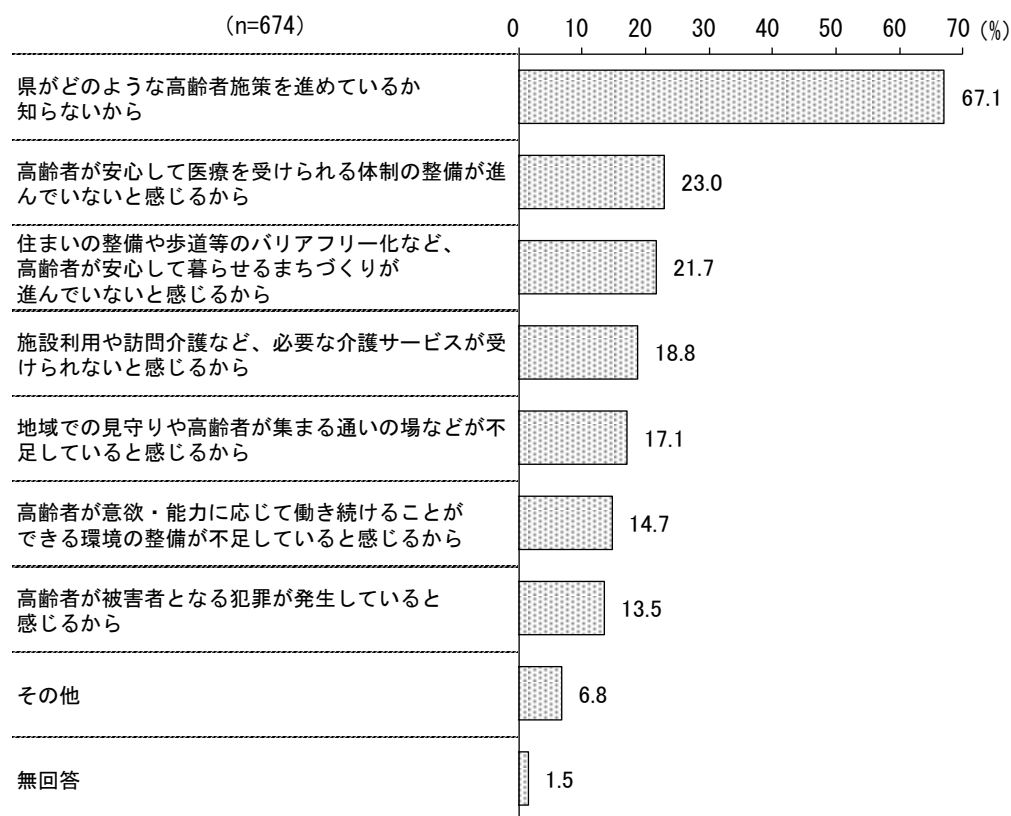


## （２－１）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策への不満点

◇「県がどのような高齢者施策を進めているか知らないから」が約７割

（問30で「やや不満である」、「大変不満である」、「わからない」のいずれかをお答えの方に）  
問30－１ その主な理由は何ですか。（○は３つまで）

＜図表４－５＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策への不満点（３つまでの複数回答）



お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策への不満点について聞いたところ、「県がどのような高齢者施策を進めているか知らないから」（67.1%）が約７割で最も高く、以下、「高齢者が安心して医療を受けられる体制の整備が進んでいないと感じるから」（23.0%）、「住まいの整備や歩道等のバリアフリー化など、高齢者が安心して暮らせるまちづくりが進んでいないと感じるから」（21.7%）、「施設利用や訪問介護など、必要な介護サービスが受けられないと感じるから」（18.8%）が続く。（図表４－５）

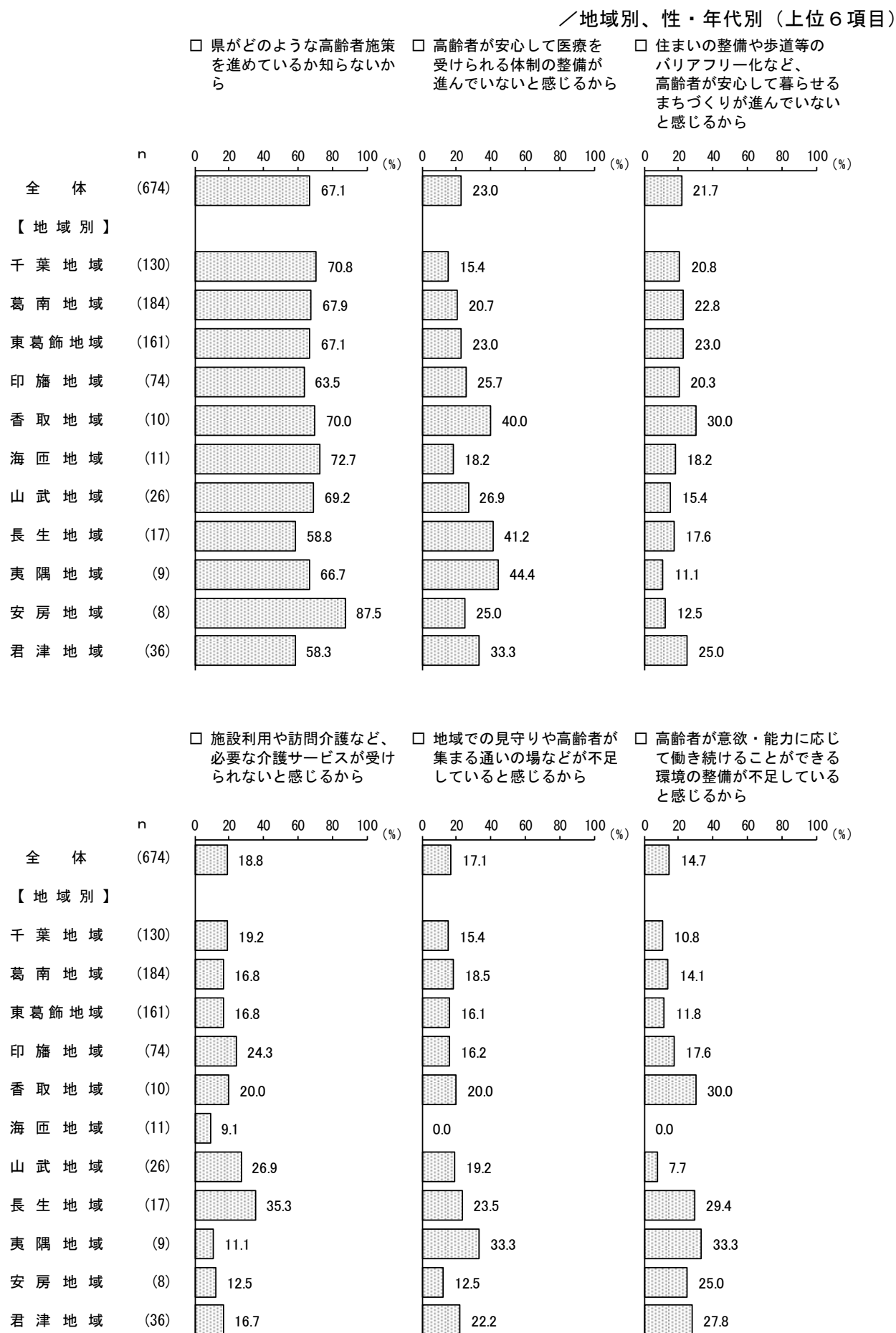
### 【地域別】

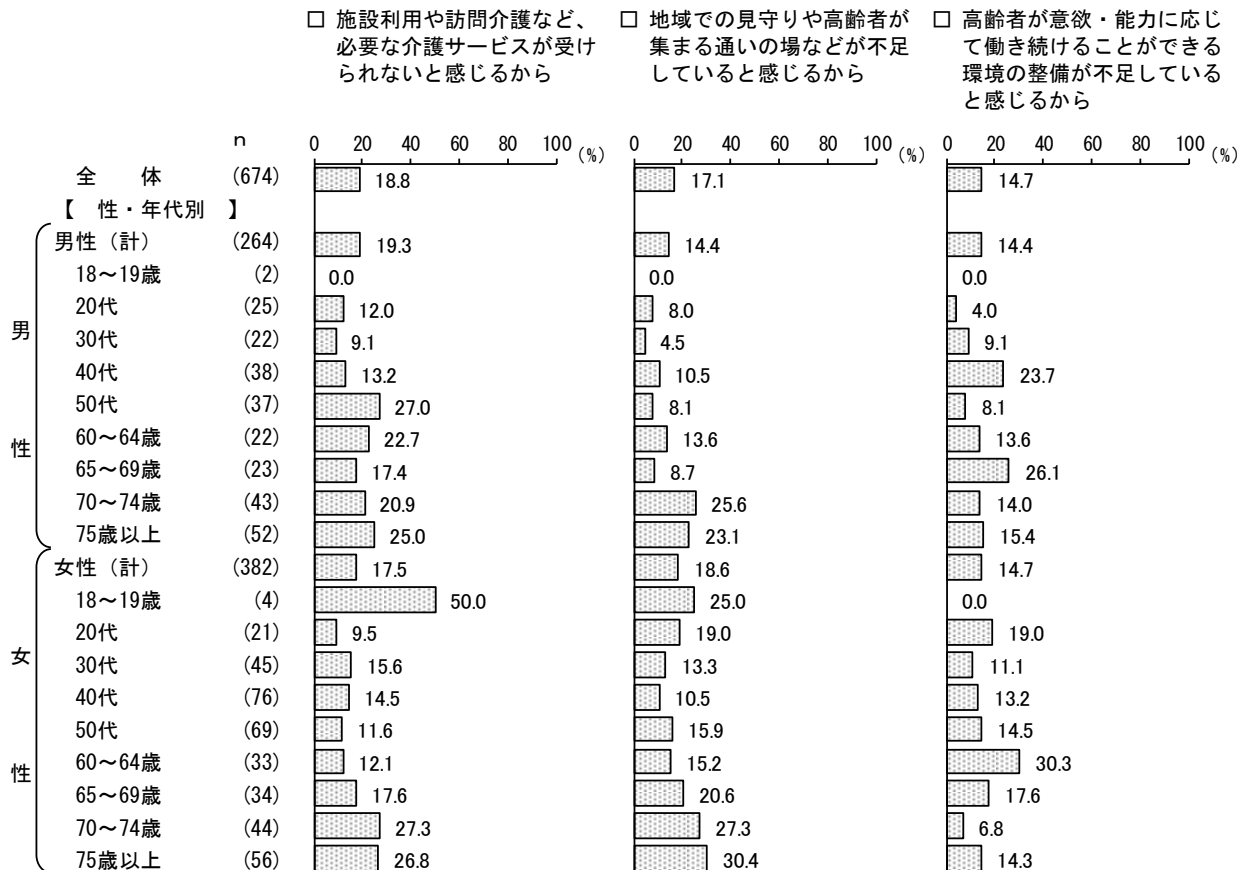
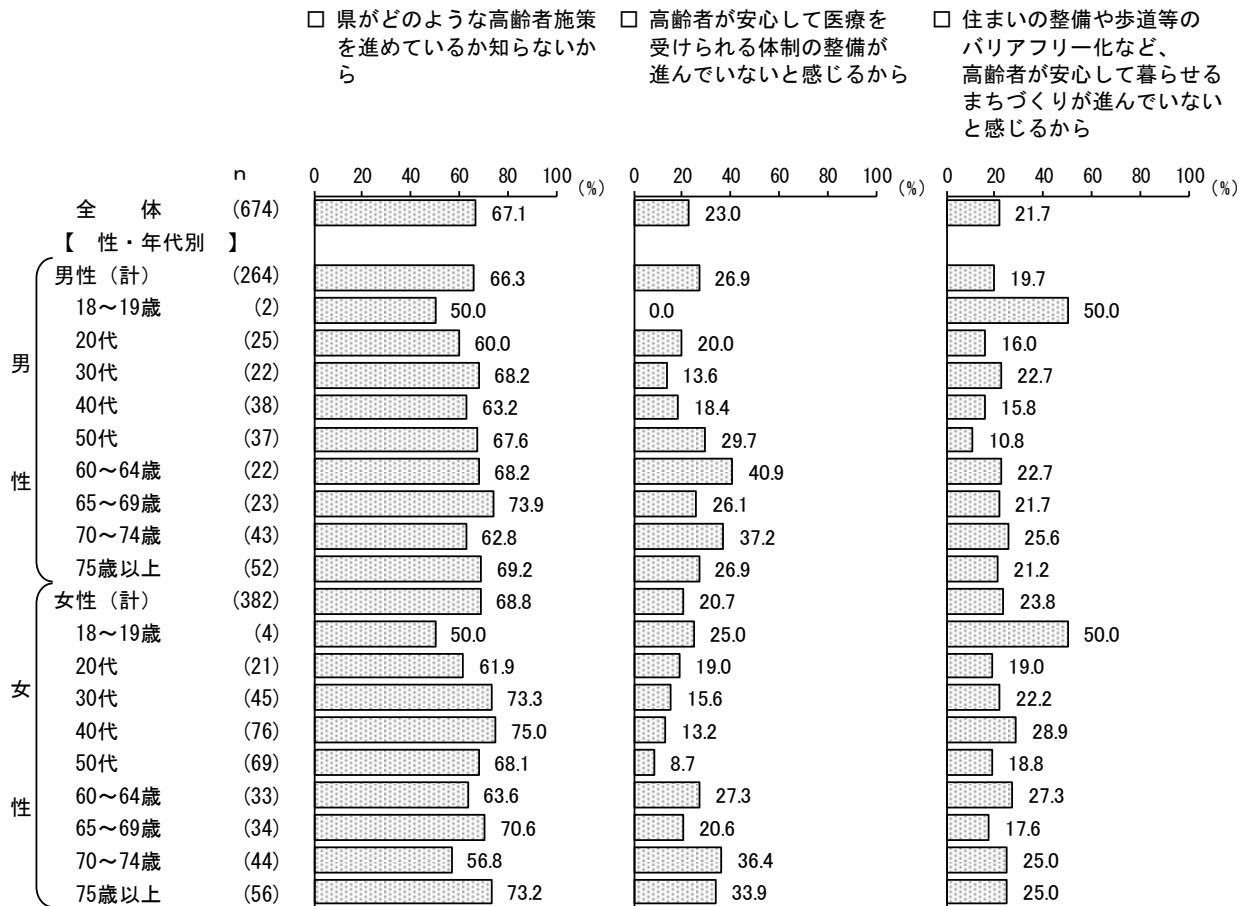
地域別にみると、大きな傾向の違いは見られない。（図表４－６）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「高齢者が安心して医療を受けられる体制の整備が進んでいないと感じるから」は男性の60～64歳（40.9%）が４割、男性の70～74歳（37.2%）が約４割、女性の70～74歳（36.4%）と女性の75歳以上（33.9%）が３割台半ばで高くなっている。（図表４－６）

＜図表４－６＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策への不満点（３つまでの複数回答）



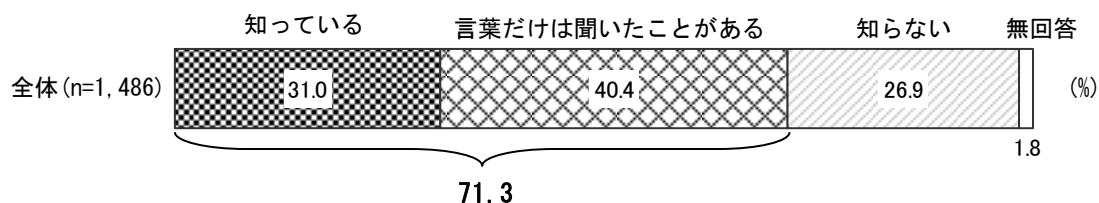


### （３）「共生社会」の認知度

◇『聞いたことがある（計）』が7割を超える

問31 障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らす「共生社会」という考え方を知っていますか。（○は1つ）

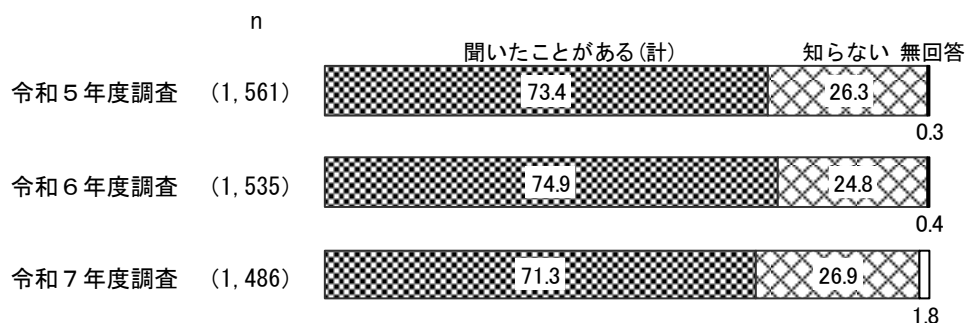
＜図表 4－7＞「共生社会」の認知度



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」（31.0％）と「言葉だけは聞いたことがある」（40.4％）を合わせた『聞いたことがある（計）』（71.3％）が7割を超えている。

一方、「知らない」（26.9％）が2割台半ばとなっている。（図表 4－7）

〔参考〕 令和5年度・6年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



#### 【地域別】

地域別にみると、『聞いたことがある（計）』は“山武地域”（92.5％）が9割を超えて高くなっている。（図表 4－8）

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある（計）』は男性の20代（87.5％）が約9割、男性の75歳以上（83.5％）が8割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」は女性の40代（36.1％）が3割台半ばで高くなっている。（図表 4－8）

&lt;図表 4－8&gt;「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別

